

科目名称:	英語コミュニケーションⅠ (ビジネス実務学科)	
担当者名:	熊田 キャロリン	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>これからの時代、将来どのような仕事に就いても英語を話したり聞いたりする機会が出てきます。仕事で英語を使わないという人でも、海外旅行に行くときや町で外国人の人と会話するときなど、様々な場面で英語を使うことがあると思います。みなさんには中学、高校と英語を学んできた実績があります。今まで学んだことを思い出しながら、英語が得意でない人も、英会話に自信がない人も、必要な時に使えるように英語の基礎をしっかりと学びます。準備学習としては、英語の基礎があれば大丈夫です。このクラスは上級・中級です。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
必要な場面で英語が使えるように、英語の基礎を修得します。		

基礎教育科目	ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針)	重点項目
DP (1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP (2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP (3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP (1)		60	30	10	100
全学DP (2)					0
全学DP (3)					0
全学DP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容 (内容・経験年数を記載)	
なし	《内容 1》	《経験年数 1》
	《内容 2》	《経験年数 2》
	《内容 3》	《経験年数 3》
	《内容 4》	《経験年数 4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
English knowledge	able to understand tasks and grammar easily	able to understand most of the tasks and grammar	able to understand tasks and grammar with assistance	unable to understand tasks or grammar
expressing their own ideas	able to make original ideas and answers easily	able to make original ideas and answers	able to make original ideas and answers with assistance	unable to make original ideas and answers
communication	able to communicate their answers to others easily	able to communicate their answers to others	able to communicate their answers to others with assistance	unable to communicate with others

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 Introduction, Australia and my hometown (group quiz, discussion, writing)	Descriptions: What's it like?	30分
第2回 Profile and kinds of (group discussion, writing, interview)	Talking about likes and dislikes	30分
第3回 Writing letters (reading, answering questions, writing)	Letter format and asking questions	30分
第4回 Days and dates (group discussion, research, conversation practice)	Calenders and events	30分
第5回 Quiz 1; (writing, conversation)	Review Lessons 1-4	60分
第6回 Advice (dictionary work, interviews)	What should I do?	30分
第7回 What if...? (dictionary work, interviews)	What would you do?	30分
第8回 Future plans (writing, conversation practice)	What are you going to do?	30分
第9回 The past (writing, conversation practice)	What did you do? How was it?	30分
第10回 Quiz 2; (writing, conversation)	Review Lessons 6-9	60分
第11回 Comparisons (adjectives) (group discussion, research, presentation)	General knowledge	30分
第12回 Superlatives (adjectives) (group discussion, research, presentation)	General knowledge	30分
第13回 Imagination (dictionary work, interviews)	If I could... I would...	30分
第14回 Talking about Japan (group discussion, research, presentation)	Grammar review	30分
第15回 Final Quiz and feedback	Summary	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、予習を小レポートにまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
クイズ3回 @20% (60) ; ワークシート (30) ; 授業への積極的関与 @10% (10) = 100%

課題に対するフィードバック

毎回のワークシートに対して、誤りを重点的にフィードバックを生徒に行う。

教科書・参考書

プリントのみ